

区内での議会報告会にて



# 市民ネットワーク Vol.55 街づくり通信



12月議会で熱く討論  
発行：市民ネットワーク  
編集：市民ネットワーク・みどり  
〒266-0031  
千葉市緑区おゆみ野 3-40-8  
河野ビル 101号  
Tel&Fax：043-293-8011  
E-mail：midori@chibanet.jp

福谷章子HP <http://fukutani.blog.ocn.ne.jp/blog/>

川本幸立HP <http://www.k5.dion.ne.jp/~kawamoto/>

## 2009年 見直すべきは何！？

「予算編成権、人事権を行使するために、耳に痛い話を受け止めるだけの気力と体力をあと4年持ち続ける自信がない。幸い素晴らしい後継者が育ってきた」として、12月議会で退陣表明をした鶴岡市長。これまでの8年間で、財政の硬直度を示す経常収支比率は90.2%から96.5%に上昇し、市債残高は5578億円から7324億円に増加し、いざという時の貯蓄である財政調整基金は23億8200万円から7億7300万円に減少するようになり、千葉市財政を逼迫させました。

折りしも未曾有といわれる経済不況で、来年度は法人税収も大幅に減少。それだけでなく220億円余りの財源不足で、H21年度の予算編成は困難を極めています。失業者の激増で社会保障費や職業訓練費、また将来世代の教育費などは減らすわけにはいきません。さらに、既存都市施設の維持管理費の減額は、市民生活の安全が危ぶまれます。だとすると、緊急性や必要性に疑問がありながらも巨額を投じる事業を見直すしか、千葉市再生の道はないのです。千葉都市モノレールの延伸、蘇我総合スポーツ公園の整備、都市計画道路の飽くなき建設など、再検討すべきではないでしょうか。 福谷章子

## 県民は高規格道路・ダムか？ 生活か？の選択を迫られている

止することを求める時です。

川本幸立

昨年5月、当時の福田政権は国民に「道路特定財源(約6兆円)の一般財源化」を約束しましたが、麻生首相に代わりそれを実現に移す動きはありません。最大の公共事業である道路をめぐり、官業の利権構造の強固さを示しています。県負担760億円(利息含む)の八ッ場ダム事業を含めて、高規格道路・ダム事業を凍結・中止することを求める時です。

今年3月に知事選挙があります。争点は約3兆7千億円(一般・特別会計、利子含む。県民一人60万円)に膨れ上がった県借金、今後4年間の財源不足見込み350億円に不況による大幅な税収減が加わる中、県政は何を取捨選択するかです。昨12月県議会に「安心実現のための緊急総合対策」として約25億円の補正予算案が出されましたが、その7割が緊急対策とは無縁の高規格道路(圏央道、北千葉道路など)やバイパス道路などの建設予算でした。先月発表された「H20年度、県政に関する世論調査結果」で、県民が求めているのは高齢者福祉の充実、医療体制の整備、災害から守る、食品安全、子どもの育成支援、公共交通の充実であり、高規格道路ではありません。今後赤字病院の切捨てが危惧される7施設ある県立病院の一般会計からの交付金・負担金は101億円(H19年度)ですが、その額はほぼ高規格道路1kmあたりの事業費に過ぎません。高規格道路事業か病院事業か、あなたはどちらを選択しますか。

平成20年4月に就任された武石緑区長との意見交換会を開きました。

お話をうかがった項目は、

1. 区公共施設の活用促進について
2. 歴史的文化財や緑の保全について(裏面のケヤキの記事もご覧ください)
3. 交通について(下記のアンケートで皆さんのご意見もお聞かせください)
4. 区の独自予算について
5. 市民参加と協働について

区が独自につかえる予算というのは、公園などの区内公共スペースの維持管理と、ふれあい事業(緑区民まつり、野馬の里

のチューリップまつり、緑区フォトコンテスト)のみと、かなり限られているのだそうで、「こうしたい、こうなって欲しい」という区民の願いに対し、緑区独自で取り組むのはなかなか厳しいというのが現実なのだそう。そのようななか、さすが前職が都市部長という武石区長は、スマートかつダンディに、緑区としてできそうなこと、本庁に伝え得ることなどを、すっきりとお答えくださいました。行政と地域がもっと親密な協力関係を築いていくために、まずはトップの顔を知ることが、市民レベルでできる第一歩かもしれませんね。 M. M.

行ってきました!!  
区長訪問  
H20年11月25日

武石緑区長

### 交通についてのアンケート(当てはまるものに○を)

・あなたのお住まいと年代は  
( )区( )町( )丁目( )歳代

1. バスの利用について
  - ① ( )よく利用する
  - ② ( )時々利用する
  - ③ ( )利用しない
 ②または③を選んだ方、理由は
  - ・( ) 目的地に行く便がない
  - ・( ) 時間があてにならない
  - ・( ) バスの便数が少ない
  - ・( ) 自家用車・自転車を使う
 その他( )
2. バス交通についてのご意見がありましたら、お書きください。
3. 市立青葉病院までのモノレール延伸計画について
  - ① ( )賛成
  - ② ( )反対
  - ③ ( )どちらでもない
 理由( )
  - ④ ( )計画を知らない
4. 現在のモノレールの利用について
  - ① ( )よく利用する
  - ② ( )時々利用する
  - ③ ( )利用しない
5. モノレールが延伸された場合どの程度利用しますか
  - ① ( )よく利用する
  - ② ( )時々利用する
  - ③ ( )利用しない

## 市民が利用しやすい交通についてのアンケート

千葉市は単独で設備のメンテナンス費用に毎年4億円強の税金を投入することになりました。現在、県庁前駅から市立青葉病院までの2kmの延伸(総工費176億円)が計画されています。千葉駅から大学病院や青葉病院まではバスが多くていますが、モノレールの延伸によってバスの便数などの延伸によるかは不明です。千葉市は単独で設備のメンテナンス費用に毎年4億円強の税金を投入することになりました。

千葉市は単独で設備のメンテナンス費用に毎年4億円強の税金を投入することになりました。しかし、緑区においては鉄道に出るにも不便な地域があります。こうした状況を踏まえ、誰もが本当に利用しやすい交通のあり方を市民提案していきたいと、市民ネットワークでは全市で調査を行っています。つきましては、左記のアンケートへのご協力をお願いします。 福谷章子

政務調査にご協力ください。



市民が求める  
交通政策を!